

(仮称)郡山市保育・幼児教育ビジョンについて

1. ビジョン策定のコンセプト

I ニーズの明確化と課題の洗い出し

新たなアンケートの実施やセグメント(属性)毎の分析によるニーズの明確化

2019 年に未就学児の保護者へ実施した「子育てしやすい環境づくりアンケート」の結果について、回答者の年齢や家族構成、就業状態等のセグメント(属性)や地域別のクロス分析の実施等により、セグメント毎のニーズや地域別の需要等について追加分析を実施するほか、施設や保育者へのアンケートを新たに実施することにより、各種ニーズの明確化を図ります。

上位計画の課題の深堀やアンケートの分析による課題の洗い出し

「第 2 期郡山市ニコニコ子ども・子育てプラン」で示された課題を保育・幼児教育の視点で深堀するとともに、アンケートを詳細に分析することによって課題を洗い出し、それらに対応する保育行政に関する施策の方向性を導き出します。

II 保育・幼児教育施設の最適化を検討

量の確保、質の向上も踏まえた最適化

本市においても、人口減少や少子高齢化の進行が想定されており、また、保育ニーズも多様化する中で、保育・幼児教育施設の最適化を検討していく必要があります。本市の現状や課題を分析し、量の確保、質の向上も踏まえた最適化について検討していきます。

公立保育所の今後のあり方

令和 2 年 11 月に郡山市子ども・子育て会議から提出された「公立保育所の今後のあり方に関する意見について」を踏まえ、市全体としての保育・幼児教育施設の最適化を検討する中で、公立保育所の今後のあり方を整理していきます。

III 関連計画との整合性と本市独自視点の反映

基本的な考え方や各種数値等、関連計画と整合性

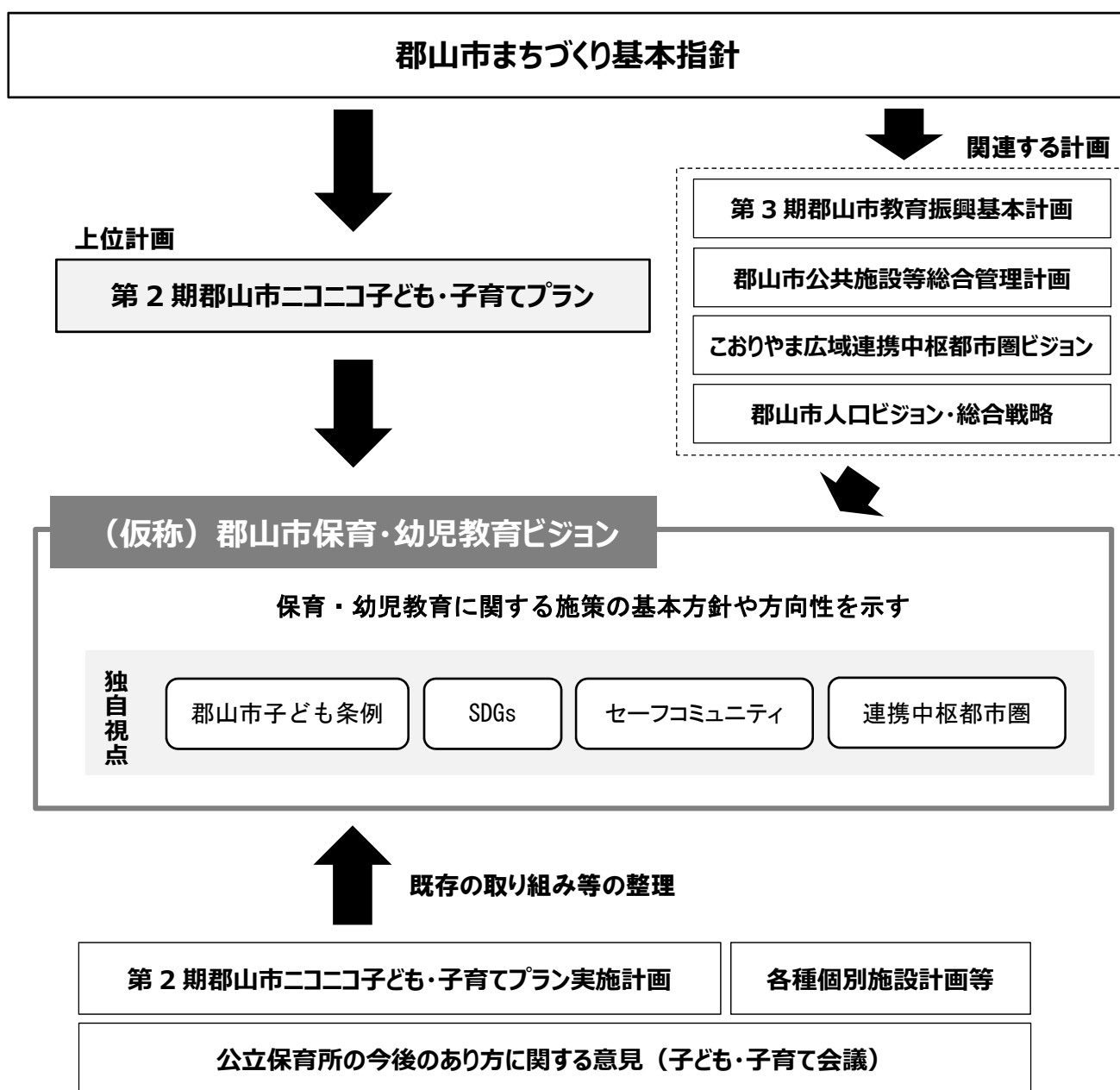
上位計画となる「第 2 期郡山市ニコニコ子ども・子育てプラン」や「郡山市公共施設等総合管理計画」等の関連計画との整合性に十分に留意し策定を進めます。

郡山市独自の視点を強みとしたビジョンの策定

「郡山市子ども条例」や「SDGs」、「郡山広域圏」や「セーフコミュニティ」等の本市の独自の視点を取り入れたビジョンの策定を進めていきます。

2. ビジョンの位置づけについて

本ビジョンは、就学前の子どもに係る分野のうち、保育・幼児教育について、課題や市民ニーズを分析・検証し、郡山市まちづくり基本指針や市の既存の計画・方針と整合を図りながら、基本方針や取り組みの方向性を示すものです。上位計画となる第2期郡山市ニコニコ子ども・子育てプランの内容を踏まえ、国や福島県における施策の動向や、郡山市子ども条例、SDGs未来都市、連携中枢都市圏（こおりやま広域圏）等に位置付ける本市の取り組みを整理しながらビジョンを策定していきます。



3. ビジョンの構成案

(仮称)郡山市保育・幼児教育ビジョンの構成案として以下を検討しています。

第1章	ビジョンの策定にあたって ○ビジョン策定の背景 ○保育・幼児教育を取り巻く状況について（国の動向等整理） ○ビジョン策定の趣旨(目的) ○ビジョンの位置づけ
第2章	郡山市の保育・幼児教育の現状及び課題 ○各種統計データによる本市の状況と見通し ○保育・幼児教育施設や子育て支援サービスの状況 ○アンケート結果に見る市民ニーズや需要の見込み ○アンケート結果に見る施設や保育者のニーズや課題 ○課題の総括
第3章	基本的な考え方 ○保育・幼児教育の基本理念 ○目指す子ども像 ○関連計画に関する整理
第4章	基本方針と取り組みの方向性 ○待機児童の解消とその継続（最適化） ○多様化する保育ニーズ等への対応 ○保育・幼児教育の質の向上 ○公立保育所の今後のあり方 ○子育て支援体制の充実
第5章	取り組みの推進にあたって ○関係機関との連携 ○今後の進め方
資料編	・策定の経過（子ども・子育て会議記録概要等） ・市民ニーズ調査の詳細分析 ・施設・保育者・保護者へのアンケート結果と分析 ・パブリックコメントの概要と結果 ・郡山市子ども条例、SDGs ・用語の解説

4. 策定スケジュール(予定)

令和 3 年 3 月	・統計データ等収集 ・子育てしやすい環境づくりアンケート結果の分析 ・新規アンケート実施 保護者アンケート（3 月 19 日まで） 施設アンケート及び保育者アンケート（3 月 24 日まで）
令和 3 年 4 月～5 月	・統計データやアンケート結果の分析 ・ビジョン素案策定
令和 3 年 5 月～8 月	・子ども子育て会議でのビジョン素案検討（4 回程度）
令和 3 年 8 月	・ビジョン素案へのパブリックコメントの実施
令和 3 年 9 月	・ビジョン策定
令和 3 年 12 月	・ビジョン印刷製本及び関係機関への配布